



ユニファイド フライングディスク セッション

&

ドッチビー関東大会 2020



参加募集要項



一般社団法人日本ドッチビー協会

【ドッチビーについて】

現在、ドッチビーという単語を正確に説明するとディスクおよび、そのディスクを使用した競技の総称となります。

競技／用具ともに日本発祥です。

アジアでは既に普及が進んでおり毎年、台湾・香港よりチームが本場、日本の大会に遠征しています！

2019年3月、アジアの5地域の代表(日本、台湾、香港、澳門、深圳)が日本で集まって会議をおこなったなかで、アジアドッチビー連盟(ADF)の発足が決議されました。

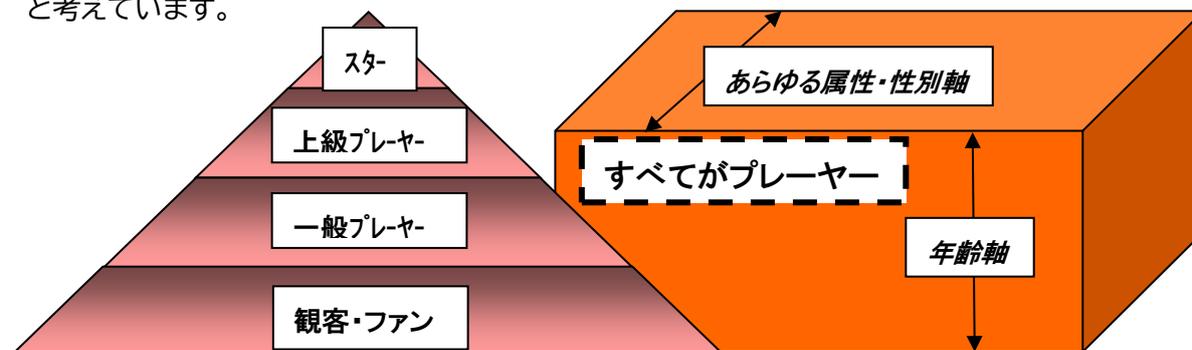


ドッチビーの特長

- 自・他ともに高い安全性 → 自分も、相手も、周辺のヒト・モノに対しても、安心、安全！
- 高く、広い汎用性 → 体力差／性別差／年齢差(大人も、子どもも) なし。
- 全国で／着実な普及 → 教育現場(小学校)での採用。行政(に準じる)主催大会多数。

ドッチビーの基本理念(日本ドッチビー協会の普及方針)

年齢や性別、スキルの上下によるピラミッドではなく、今までスポーツを苦手と思っていた人たちやスポーツに縁が薄かった、何処にでもいる普通の人たちを、さらには障がい者、高齢者を含めた皆さんを対象にして、目指すのは全てのスポーツの入り口として機能すること。と考えています。



ユニファイド フライングディスク セッション【U F S】とは

ドッチビーは高い安全性を有し、協会が推奨する公式4種目は競技レベルや競技への志向によって幅広い選択をすることができ、スポーツに対して障壁を感じていた方にも親しみやすいものと確信しています。

このドッチビーを使用することで障がいの有無に関わらず統合的に、日常生活の中で楽しめるフライングディスクの新たな遊びや種目を創造して提案し、共生社会の一助になることを目的にしたシリーズ・イベントが【U F S】です。

【大会概要】

名 称：ユニファイドフライングディスクセッション&ドッチビー関東大会 2020
Unified Flyingdisc Session & KantohTournament2020

日 時：2021(令和3)年2月11日(木曜祝日) 9:00~16:30

場 所：駒沢オリンピック公園総合運動場 体育館/屋内球技場
世田谷区駒沢公園1-1

主 催：一般社団法人日本ドッチビー協会

後 援：東京都(申請済)
公益社団法人 東京都障害者スポーツ協会
全国特別支援学校知的障害教育校PTA連合会
一般社団法人日本自閉症協会
NPO法人東京都自閉症協会

協 力：株式会社クラブジュニア

協 賛：文化シャッター株式会社
ワタミ株式会社
株式会社ミカサ

【実施タイトルと想定人数】

①ゴールドドッチ関東大会	8チーム / 80名
②ドッチディスタンス関東大会	180名 ※90%は①と③に重複
③ユニファイド フライングディスク セッション	16チーム / 200名
④ディスクドッチ・イベント	100名

参加者合計数 = 400名
引率・観戦者/スタッフ・関係者 = 100名
総合計 = 500名(概算)を想定

【大会会場について】

駒沢オリンピック公園総合運動場

大会会場として○=体育館と□=屋内球技場を同時に使用します！！



1 ゴールドドッチ関東大会



個人能力の中では何よりもシュート決定力がモノを言う、観て楽しめる、興奮度満点保証！ドッチビー種目中、最もアグレッシブなゴールドドッチ！！

20×40フットサルやハンドボール正式コートと同じフィールドでディスクをパスで繋ぎながら制限時間30秒の内にゴールを狙うオフェンスチームに対してディフェンスチームはパスをカットして瞬時に攻守交代を狙う。相手のパスを良いフィールドポジションでインターセプト、即、ロングシュートで得点！ゴールドドッチならではの超プレー。



フットサル、またはハンドボールのコートでゲームをおこないます。味方同士でパスをつなぎ、相手のゴールにシュート。ゴールに入れば1点獲得。制限時間終了後、得点の多いチームが勝つパスワークが重要なゲームです。安全性を確保するための、選手の接触は一切禁止されています。接触した場合、相手チームにペナルティスローが与えられます。

2 ドッチディスタンス関東大会(記録会)

ドッチビーを使用した遠投種目。下記カテゴリーを一挙におこなう日本初の総合大会です。

<募集カテゴリー>

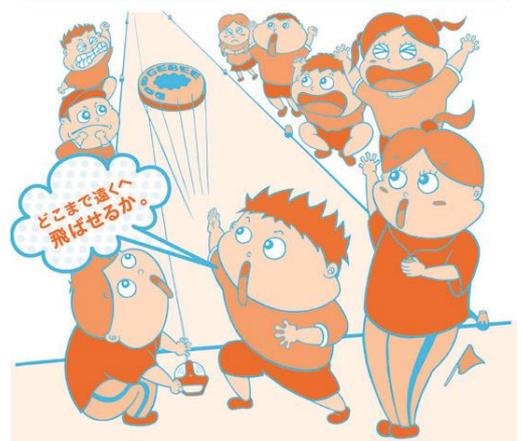
- 4歳から6歳までは性別なしでの3カテゴリー
- 小学1年生から高校3年生までは各学年別、および男女別での24カテゴリー
- 18歳～30歳は男女別で2カテゴリー以降、31歳～35歳、次に36歳～40歳、と5歳刻みで86歳オーバーまで、すべて男女別24カテゴリー、総合計は53カテゴリーです。
- ◎チャレンジドカテゴリー(障がいのある方の部門)もあり、4歳から6歳までは性別なし3カテゴリー
- ◎小学1年生(7歳)から86歳まで1歳刻みですべて男女別に160、チャレンジド合計163カテゴリー

<実施要項>

一人、1分以内に3回の試投。
その内、最も飛距離が出たスローの記録を測定。
投げ方に制限はありません。

※記録カテゴリーの詳細は協会HPで確認下さい。

<https://www.dbja.jp/main/products/record-new.htm>



より速くディスクを飛ばす、単純明快な競技です。ディスクを飛ばすための基本要素とチカラをディスクに伝えるタイミングが大切です。決められた横幅の制限区域内で、規定投数のドッチビーを投げ、一番速くに飛んだ距離を計測します。年齢・性別で細かくカテゴリー区分がされていますので、誰でも記録に挑戦することができます。

3 ユニファイド FD セッション

<実施要項>

- ◆ドッチビーを使った4～5コーナー「ドッチビー・チャレンジサーキット」を巡回体験します。
- ①ドッチビー・ディスクゲッター<パネルを抜き落とす> ～ 強く、速く投げるスローイング
- ②ドッチビー・キャッチ<ディスクを捕る> ～ キャッチング
- ③ドッチビー・ドッジ<当たらないように逃げる> ～ スローをかわす
- ④ドッチビー・パス<投げて捕ってもらう 距離別に> ～ 捕らせる、距離調整スローイング
- ⑤ドッチビー・フープ<輪の中を通す> ～ 正確なスローイング
- ◆ディスクドッチ(ドッジボール形式ゲーム)種目に挑戦します。
- ◆◆これらすべてをチーム単位で集計して合計成績で表彰いたします！

<募集要項>

障がいのある方と障がいのある方が日ごろより一緒に過ごしている方(保護者、介助者や友人など、健常者)がペアを組んで、5～7ペアで1チームとして参加いただきます。

- 障がい種／本大会の基本対象となる障がい種は知的、精神、発達障がいとしています。その他の障がい種で参加希望があるときは主催者へ直接、お問合せください。

<募集数> 16チーム

- 1チームの構成は
- 10人(5ペア)から14人(7ペア)まで



4 ディスクドッチ & NEW スポーツ体験

東京2020オリパラ支援の大学サークル連携プロジェクトBRIDGE「ブリッジ」

オリパラ各マークに共通する3色、青赤緑を大文字にして「架け橋」を意味する”Bridge”という単語にすることで様々な地域・世代、学生、そしてオリンピック・パラリンピックへの「架け橋」となると共にオリンピック・パラリンピックムーブメントの未来への「架け橋」を標榜するオリパラ支援をおこなう各大学サークルの連携プロジェクト団体。

リーディング幹事5校 / 慶応大学・立命館大学・早稲田大学・立教大学・上智大学

ブリッジの目的である1年延期となったオリンピック・パラリンピックのムーブメント創出と本イベントのスタッフおよび参加者の学生には別会場の運営協力をもらうことでDBJAが提唱するユニファイド理念を若者に広めることを目的としています。

「ブリッジ」に主管を委ねる形態を採って、大学生を中心とした若者にドッチビーをはじめとするNEWスポーツ全般を体験できる参加型イベントを実施します。

【募集概要】

① ゴールドタッチ関東大会

関東地域を中心に8チームを募集します。

募集要項は別紙①-1、申込用紙は①-2

部門は特に設けませんが男女、大人・子ども、などMIXチームを優先します。
8チーム以上の申込みがあった場合、主催者による判断や調整をいたします。

② ドッチディスタンス関東大会(記録会)

180名の個人を募集します。

①と③にエントリーした選手の方が重複して②にもエントリーする場合、優先枠として受付けます。＜共通、募集要項は別紙②-1、申込用紙は②-2＞
優先枠だけで180名を超えた場合、期日前に募集を〆切とします。

「1次受付」優先枠で募集数に満たない場合、
残りの枠数分、②のみに参加する個人の方を「2次受付」として募集します。

※詳細は「1次受付」終了後、協会HPで発表します。

③ ユニファイド FD セッション

関東地域を中心に16チームを募集します。

1チームの構成は10人(5ペア)から14人(7ペア)まで。

募集要項は別紙③-1、申込用紙は③-2

年齢・性別は一切不問です。

障がいのある方と障がいのある方が日ごろより一緒に過ごしている方(保護者、
介助者や友人など、健常者)がペアを組んで、5～7ペアで1チームとします。

8チーム以上の申込みがあった場合、主催者による判断や調整をいたします。

●障がい種／本大会の基本対象となる障がい種は知的、精神、発達障がいとしています。

その他の障がい参加希望があるときは主催者へ直接、お問合せください。

————— <①・②・③のお申込み・問合せ> —————

一般社団法人日本ドッチビー協会

千代田区神田神保町 2-46-302

TEL / 03-3264-3626

mail / support@dbja.jp

www.dbja.jp

④ ディスクドッチ & NEW スポーツ体験

一般参加の可否および内容の詳細は検討中です。

お問合せは BRidGe 代表まで : rmgjkrw.2020gakusei@gmail.com

事前の対応等

- 今大会においては選手他、申込用紙に記載のある方以外の観戦来場は極力ご遠慮ください。
- 今大会の申込みにおいては万が一、感染が発生した場合に備えて参加選手の氏名・年齢・住所・連絡先電話番号を代表者様は必ず一覧表にして保管していただくよう、お願いします。
- 一覧表は個人情報の取扱いに注意のうえ、大会実施日より1ヵ月間、保管してください。
- 大会開催の1週間前より毎日の検温をしていただき、検温リストを各自、保管してください。
- 大会参加料はチーム分をとりまとめて事前に振込みでお支払いいただく予定としています。

大会当日の受付・持ち物等

- 選手他来場予定者が発熱・咳・咽頭痛など体調がよくない場合、参加をお控えください。
- 選手他来場者は受付で手指の消毒、検温をおこなっていただきます。(主催者が用意)
- 選手他来場の際、マスクを持参してプレー中以外、会話をする際には着用してください。
- 選手は各自でドリンクをご用意ください。回し飲みはご遠慮ください。
- 選手は各自でタオルをご用意ください。共用はご遠慮ください。
- 開会式・閉会式は間隔をとって整列していただき、簡素かつ短時間におこないます。
- 参加賞は主催者が消毒の上、終了までにチーム人数分をまとめて代表者様へ渡します。

試合時間中・待機中

- 選手他来場者は大声での声援を控えてください。
- フィールドでのプレー中のマスク着用は推奨しません。
- 試合中、ベンチで控えている時のマスク着用を推奨します。
- 今大会では得点時、ハイタッチやハグなどは控えてください。
- 今大会では試合前の整列は極力おこないません。
- 最初の攻守は主審が指示の元、チーム代表の各1名のみでディスクフリップをおこないます。
- 試合で使用するディスクは主催者が十分な数量を用意してこまめに交換し消毒清掃します。
- 選手他来場者はプレー中以外、手指の消毒をこまめにおこなってください。
- 選手他来場者はプレー中以外、他の来場者との距離を適切に確保してください。

審判・スタッフについて

- ▲電子ホイッスル(口吹きは厳禁)として、ストップ・ウォッチその他用具はこまめに消毒します。
- ▲主審・副審のマスク着用はいたしません。その他スタッフは基本的にマスクを着用します。
- ▲主審・副審はできるだけ声を出さず、ジェスチャーで判定を伝える努力をします。

大会終了後

- ※万が一、当日の来場者に感染が発生した場合、代表者の方は主催者に対して速やかに濃厚接触者の有無など、状況報告をお願いいたします。

大会会場関係は施設側の規則・規制・要望などに従っていただくよう、お願いいたします。